

まちかど

●荏原第一地域新聞●

花めぐり

ノースポール

原産地は南ヨーロッパ、北アフリカ。日本へは1970年代に渡来。一年草で、高さは20～30センチ。花径は2センチから3センチくらい。分類はキク科のフランスギク属。



ノースポールというのは、「北極」のことである。眺めて見ると、キクにそっくりである。まちかど編集委員のお宅に10株ほど咲いているので見学させていただいた。マーガレットにも似ているが、草丈も花の大きさも小さめである。まだ花びらは小さくて、可憐である。ほんとうにキクをやや小ぶりにしたようだ。中央の花芯の部分が、黄色い。4月ごろに最盛期を迎えるようである。その可憐なたたずまいに、惚れてしまった。なんともいじらしい。

写真も、キクとまったく同じである。キクよりも楚々としている。学名は「クリサンセマム・パルドサム」。クリサンセマムは、キク科キク属の学名で、キク属を広義にとらえている。

(荏原1丁目町会・吉田 健治)

●荏原保育園のもちつき
荏原保育園で新年の行事である「もちつき」が、1月11日(水)に行われました。このもちつきは、子どもたちが日本の伝統行事を体験することを目的に、毎年この時期に開かれています。今年は、1歳から5歳までの園児137人と、荏原地域の一時保育や地域交流施設を利用されている方も参加しました。

まずは保育士の先生が、もち米から作られるということの説明し、みんなでつく前の粒が残った状態のもち米を試食。子どもたちは、「よいかむとおもちみたい。甘くておいしい」と、1粒1粒かみしめながら味わっていました。
この日用意されたもち米は、およそ7キロ。このもち米を、今年採用になったばかりの新人保育士2人が、呼吸を合わせてこね始めました。臼の周りをまわりながら、もち米をつぶすこと15分。ここからが、もちつきの本番です。子どもたちの「よいしょ!よいしょ!」のかけ声に合わせて、思い切り杵を振りかぶりました。先生たちも「みんなの応援があるからがんばれる」と、10分ほどでふわふわのもちをつき上げました。



「よいしょ!よいしょ!」のかけ声に合わせてもちつき

新春



保育園で伝統文化を体験

わが家のペット

～セキセイインコのクウちゃん～

今回は小山3丁目在住、大澤家のセキセイインコ「クウちゃん」です。

クウちゃんは女の子だからか、グチュグチュおしゃべりが大好きで、人間の言葉を真似しては、「今日は」、「お母さん」、「困ったね」などと喋ることができます。遊びたいときは自分から催促し、お気に入りには鈴です。鈴にリボンをつけてもらい、口ばしで摘まんで振り回しては飛ばし、鈴が落ちたところへ飛んで行って、また飛ばしてを繰り返して、放っておくと一日中やっているそうです。この仕草が愛らしくて、ご主人も見ていて飽きないクウちゃんです。

昼間は自由にゲージから出たり入ったりして、夜は8時30分に部屋の灯りを消すと、クウちゃんは鳥目なのですぐに捕まり、ゲージのカバーをかけられるとおとなしく寝てしまいます。朝、ご主人が起きてカバーを外すと、クウちゃんのお喋りが始まるということです。

好奇心旺盛で遊びが大好き、本当に愛らしいセキセイインコのクウちゃんは、大澤家の生活に無くてはならない存在となっています。



(小山2丁目東部町会 山内 静子)

●平塚保育園のお正月遊び

平塚保育園では、年明けから子どもたちがお正月遊びに夢中になっていました。独楽まわしに羽根つき、すごろくや福笑い、それに凧揚げなど、0歳から5歳までの子どもたちが、伝統的な遊びを通して日本のお正月を楽しんでいます。

特に人気の独楽まわしは、子どもたちが慣れた手つきでひもを巻き、この日は何個もの独楽がくるくると床の上を回っていました。平塚保育園では、子どもたち自身が遊びのルールを考え、誰が一番た。

荏原第一地区 初顔合わせ

荏原第一地区の区政協力委員会並びに連合町会の初顔合わせが、1月13日(金)に武蔵小山商店街の中華井門で行われました。区長や顧問にもご出席いただき、総勢84名で親睦会を開催いたしました。新しい年を迎え、荏原第一地区のさらなる発展と飛躍、そして皆様の健康を祈念いたします。今年もどうぞよろしくお願いたします。(事務局)

◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、3月21日(火)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/> 古紙を配合した紙を利用しています。